

様式E（マニュアル様式）

政務活動費領収書等整理表

会派名：公明党

報告年度：令和元年度

項目	調査研究費・研修費・ <input checked="" type="checkbox"/> 広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費
領収書等添付	(該当科目に丸をつけてください)

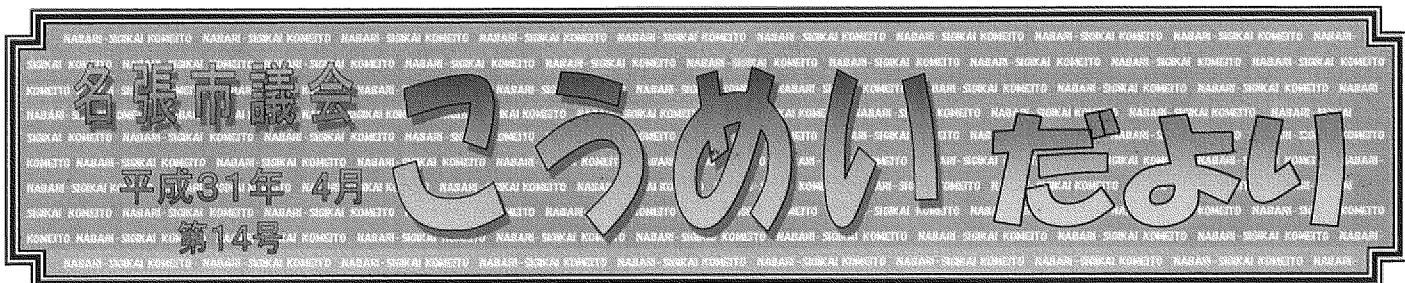


領収証金額	政務活動費で認められる按分	政務活動費分
¥ 49,248	× 1/3	= ¥ 16,416

合計金額	16,416円
------	---------

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。



平成31年4月 第14号

平成31年(第384回) 3月 議会



吉住
みちこ



《議員報酬5%削減》

厳しい財政状況にかんがみ、都市振興税が課税されている期間、議員の報酬を削減する議案を全会一致で可決しました。

☆ 改元に伴う大型連休による市の窓口対応について！

天皇陛下の退位と皇太子さまの新天皇即位にあたり、改元の日となる5月1日は祝日となり、さらに祝日法によって、4月27日から5月6日まで10連休になります。その間の窓口業務について市の対応を問いました。

4月30日と5月1日（10時～15時）の2日間、婚姻・出生届などの受付や、戸籍・各種証明書の交付ができます。
(住民移動手続きは不可)

☆ 提案が実りました！！

「名張市オリジナル婚姻届・出生届」 4月19日～配布

平成30年3月議会において、人生の門出や命の誕生を生涯の思い出にして頂くため、名張市オリジナル婚姻届及び、出生届を作成するよう提案しました。
イチゴやブドウ、赤目四十八滝、花火、桜など市のイメージがカラーで表現されています。

☆ 「名張市飲酒運転根絶に関する条例」の制定について！

飲酒運転の根絶に向け、近年法律による厳罰化も進んでいるにもかかわらず、いまだ飲酒運転による事故で、大切な命が奪われています。

名張市の飲酒運転検挙件数は、平成28年検挙件数12件、人身事故0件、死亡事故0件。平成29年検挙件数28件、人身事故1件、死亡事故1件。平成30年検挙件数23件、人身事故1件、死亡事故1件となっています。

このように飲酒運転がいまだに無くならない現状から、法律による厳罰化とは違う観点で、名張市で条例を制定し、飲酒運転根絶を目指すよう提案しました。

市長からは、市民総ぐるみの取組とするために議員提案条例となれば一層意識を高めることができるとの答弁があり、議員提案条例制定に向け今後検討を進めていきます。

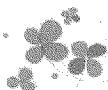
☆ 学校現場での消費者教育の取組について！

消費者を取り巻く環境はグローバル化の進展で、消費者問題や消費者被害の内容等も変化しています。全国の消費生活センター等に寄せられる消費生活相談は小学生、中学生、高校生、大学生等から、インターネットを利用したアダルト情報サイトやオンラインゲーム等のトラブルに関する相談件数が上位に上がっています。

消費者被害を未然に防止するためには若年層への消費者教育が必要です。かしこい消費者育成の視点から、悪質商法被害を未然に防止するため、学校現場での消費者教育の実施を求めました。



阪本
ただゆき



富田
まゆみ



この会派報にかかる経費の1/3は政務活動費から使用しています。

☆ 食品ロス削減の取組が進みました！

食品ロス削減については、平成28年6月議会で、市や市民、事業者が一体となって取組むことを提案しました。市は様々なアイデアを考案し、協力店に「食品ロス削減啓発用三角柱」や「啓発ポスター」、「完食二十面相コースター」を無料で配布し啓発活動に努めています。



☆ ひきこもり対策について

学校や仕事に行けずに、家族以外の人との交流がほとんどなくなる、ひきこもりは、若者の問題として扱われてきました。

しかし、長期化すると、本人が40～50代になれば親も高齢化し、病気や介護が重なり、生活が困窮するケースに加え、親亡き後の不安も大きくなります。

ひきこもりの人の相談窓口、早期発見、早期支援につなげるため、支援拠点の居場所づくりを進めるよう要望しました。

☆ 風しんの予防接種について



子どもの頃に風しんの予防接種を受ける機会がなかった39～56歳の男性を対象に2019年度末まで、抗体検査と予防接種が原則無料になります。

働き盛りの年代でもあり、平日や休日、夜間、職場で抗体検査と予防接種が受けられるよう要望しました。

☆ 学校教育のさらなる国際化に向けた取組について！

2020年度から小学校で英語教育が始まります。

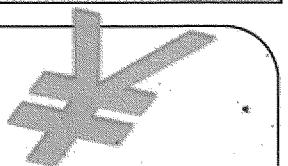
「外国語活動」という体験型学習が小学3年生からスタートし、5年生からは「国語」「算数」と同じように「英語」が教科として時間割に加わり、子ども達が「英語は楽しい！」と感じて積極的に取組むための大切な時期になります。

生き生きとした国際教育の展開を目指すため、必要とする外国語指導助手の要請、人材の育成に努めるよう要望しました。

《平成31年度 当初予算》

平成31年度の一般会計予算は、269億7,400万円となり過去10年で2番目の規模となりました。

主な事業内容としては、旧桔梗丘高校を新桔梗が丘中学校として活用するための改修工事として5億6,926万円、地域型保育事業として3億5,358万円、忍者ツーリズム創造事業として3,000万円、起業・事業所支援事業として3,538万円、健康づくり事業として962万円などです。



様式E (マニュアル様式)

政務活動費領収書等整理表

会派名：公明党

報告年度：令和元年度

項目	調査研究費・研修費・ <input checked="" type="checkbox"/> 広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費
目	(該当科目に丸をつけてください)

領収書等添付

領 収 証

No. _____

R元年 9月 27日

名張市議会公明党 様

金額

¥ 50976-

但し、こう問い合わせより、6月領収分

上記の金額正に領収いたしました



双葉印刷

三重県名張市新町197番地
TEL 0595-63-0834
FAX 0595-63-2520

領収証金額

政務活動費で認められる按分

政務活動費分

$$\text{¥} 50,976 \times 1/3 = \text{¥} 16,992$$

合計金額

16,992円

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

名張市議会 さうめいいたどり
令和元年8月 第15号

令和元年（第386回）6月 議会

— 請願・意見書を提出 —

- 「名張市における太陽光発電設備設置行為の規制を求める請願」

名張市全域と住宅専用地域の住民が納得する街づくりを保持するため、太陽光発電設備設置について、住民の同意を得ることなく施工してはならないことを規制するためです。

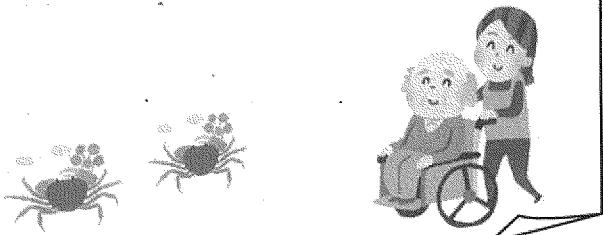
- 「県立高等学校募集定員に関する意見書」

県教育委員会から、来年度の県立高等学校募集定員を前年度より320人減とする通知があり、名張市内の県立高等学校の募集定員がここ5年間で120人減となっていることから、これ以上減じることのないよう求めました。

☆ 所得区分が第1段階から第3段階までの介護保険料が軽減されました！！

市民税非課税世帯対象

- ・第1段階 30,240円→24,570円 (-5,670円)
- ・第2段階 45,360円→35,910円 (-9,450円)
- ・第3段階 52,920円→51,030円 (-1,890円)



☆ 防災センターの活用について

防災意識を高めていくため、防災センターでの体験学習のほかに、夏休みなどを利用した避難所生活体験や、センターの敷地を利用するなど、施設活用の工夫を求めました。



☆ プレミアム付商品券について！

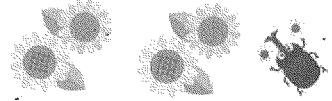
消費税及び地方消費税の税率引上げが低所得者、子育て世帯に与える影響を緩和するため「名張市プレミアム付商品券」が発行されます。

- ・令和元年度住民税非課税者と3歳未満の子どもがいる世帯が対象。
- ・500円の商品券10枚綴りが4,000円で購入できます。

(10/1～10/14、庁舎1階ロビーで販売)

この会派報にかかる経費の1/3は政務活動費から支出しています。

☆ 地域への委託管理料について！



市民センターの管理運営は、市が地域づくり組織に委託しています。

昨年度は最低賃金の引き上げに加え、災害級の猛暑による光熱費の高騰により、管理運営が厳しい状況となりました。市民センターを利用した活動を活発に行えば経費がかさみます。

指定管理料の算出基準より高額になったり、突発的な事象で管理運営費が予算以上に必要になった場合は、緊急的な対応を講ずるよう市に求めました。

市は、来年度に指定管理契約の見直しを行い、突発的な理由による運営費の高騰については、そのつど協議するとの答弁がありました。

☆ 児童虐待防止対策について！

親による子どもへの体罰を禁止する、児童福祉法改正案が成立しました。

「しつけ」と称した子どもへの虐待事件が後を絶たないことから、子育てに暴力を使わない社会を目指すものです。新たなルールに対する名張市の取組みを聞きました。

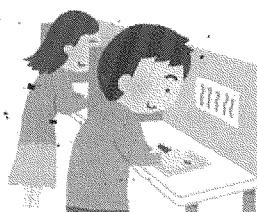
市は、地域福祉教育総合支援システムを更に充実し包括的な支援体制を構築するとのことです。



☆ 子宮頸がんワクチンについて

平成25年に厚生労働省は、子宮頸がんなどを予防するヒトパピローマウイルスワクチンに関し、定期接種の位置づけはしているものの積極的な呼びかけを一時中止しました。

対象者になる中学1年生～高校1年生の女子とその保護者には、詳しい情報提供をし、接種判断ができるよう要望しました。



☆ 高齢者の肺炎球菌ワクチンについて

平成31年度から5年間、公費助成の経過措置が延長になりました。

高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種率が国の想定よりも低く、制度の周知面が課題とされたことから、本市においても対象者に個別通知するよう求めました。



☆ 投票環境の向上について

現在の期日前投票所は、市役所の1箇所だけです。投票率の低下が進む一方で、期日前投票の投票率は上がっています。1人でも多くの市民が投票できるよう、市民の利便性の高い場所に増設することを求めました。



《令和元年度 6月補正予算》

令和元年度の補正予算は、24億3,025千円を追加し、予算総額は293億77,025千円となりました。

主な事業内容としては、小中学校施設整備事業（エアコンや防災減災低炭素化実現事業）に19億8,978千円、体育施設整備事業に88,655千円、プレミアム付商品券発行事業に3億25,847千円などです。



様式E (マニュアル様式)

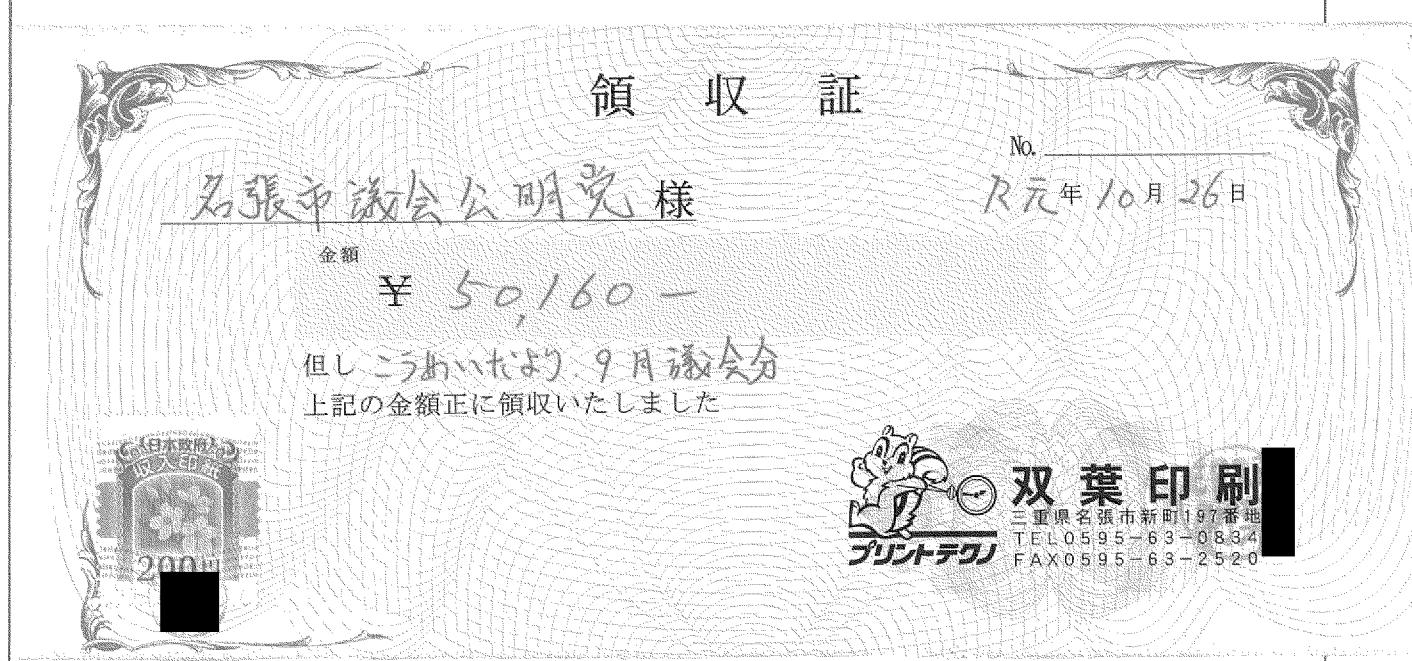
政務活動費領収書等整理表

会派名：公明党

報告年度：令和元年度

項目	調査研究費・研修費・ <input checked="" type="checkbox"/> 広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費
目	資料作成費・資料購入費・その他経費 (該当科目に丸をつけてください)

領収書等添付



領収証金額

¥ 50, 160

政務活動費で認められる按分

× 1/3

政務活動費分

= ¥ 16, 720

合計金額	16, 720円
------	----------

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。

名張市議会 こうめいいたよい

令和元年10月 第16号

令和元年(第388回) 9月議会

議会役員の改選(10月2日)

富田 真由美・議長に就任しました。
吉住 美智子・会派長、議会運営・改革副委長、
総務企画委員会副委員長
細矢 一宏・太陽光発電規則検討部会長
阪本 忠幸・教育民生委員会委員長

☆ 通学路等の安全確保のさらなる強化を求める要望書を市へ提出!!

危険な交差点へのガードレールやポールの設置、携行品に配慮した「置き勉」、自転車の交通安全教育の徹底など市へ要望しました。

議員提案条例可決(9月2日)

- 名張市飲酒運転根絶に関する条例
- 名張市議会の議員の議員報酬及び期末手当の減額、支給停止及び不支給に関する条例

議会改革による施行(9月25日)

- 名張市議会災害対応方針
- 名張市議会災害対策支援本部設置要綱

☆ 孤独死対策について!

少子高齢化に伴い核家族化が進み一人暮らしの高齢者が増える中、社会問題となっているのが誰にも気づかれずに亡くなる孤独死です。厚生労働省の調査では、男性が8割、女性が2割となり、孤独死は男性の方が多くなっています。人付き合いや地域との関わりの頻度によって違いがあると言われます。高齢者は、健康状態や生活状況なども短期間で変わることもあり、きめ細かな見守り・訪問活動で、一人でも安心して暮らせるよう地域福祉の充実を求めました。

☆ 保育所(園)等での使用済み紙おむつの処理について!

市内の保育所や認定こども園、地域型保育所など27園の内、19園で交換した使用済み紙おむつを保護者が持ち帰っています。排泄の状況を見て健康状態を確認するためとのことですが、家庭ではそのままゴミとして処分されていることが多いと思います。下痢や感染症であった場合、ウイルスがついたおむつを持ち帰ることは衛生面で問題があり、また保育士がおむつの仕分けをする手間も軽減できることから、保育所で一括処分するよう要望しました。



☆ 高齢者の移動手段確保について!

近年、高齢運転者の死亡事故や運転ミスによる事故が増加しています。「生活の足」となっている車は、免許を返納すれば日常生活に不安と不便を感じることが多々あります。

免許の有無が高齢者の外出の支障となるよう名張市における移動手段の確保について、各部が連携して取組むよう要望しました。

(参考・広島県福山市では、高齢者の移動手段として国の実証事業「グリーンスローモビリティ車両」を導入しています。)

☆ 放課後児童クラブについて!

働く女性が増える中、放課後児童クラブを利用する児童も増加しています。

子ども達が安心して生活できるよう施設の整備や支援員の確保、安定した財政基盤と運営体制を確立し、クラブ間で格差が生じないようサポート体制の強化を求めました。



細矢
かずひろ



富田
まゆみ

☆ 市立病院産婦人科開設について！

名張市の1年間の出生数は約500人で、市外での出産は約300人です。里帰り出産も含め市内で出産を望む声が多く、市立病院に産婦人科開設が急務です。産婦人科開設の時期について問いました。

伊賀地域における基幹病院の機能分担が再検討される中で、一定の時期がくれば産科の開設を判断するとの市長答弁がありました。

☆ 学校給食費等徴収・管理業務の公会計化について！

文部科学省は、本年7月31日、教員が行っている給食費などの徴収・管理業務を市が担うよう通知されました。

教師の負担を減らし、授業改善や児童に向き合う時間を増やすことができるよう早期、公会計移行を求めました。

☆ 期日前投票の宣誓書について！

全国的に選挙の投票率は、年々下がっているものの期日前投票の投票率は上がっているようです。

混雑を解消するため、事前に宣誓書を市のホームページから印刷できるよう要望しました。

市は、次期選挙から対応することでした。

☆ 防災対策について！！

【災害時の受援体制の構築】

各市町村で、災害時に立ち上げる災害対策本部に応援・受援体制を位置付けるよう、国のガイドラインで示されています。応援の要請や連絡調整、支援物資の供給体制など、平時から実行性を高めるよう求めました。

【要支援者への避難行動支援体制】

国は災害対策基本法の改正により、一定要件を満たした全ての人を要援護者名簿に登録するよう進めています。名張市では自己申請となっていることから、登録もれを防ぎ、個々の避難行動計画を立てるよう要望しました。

【フェーズフリーの考え方】

いつもの暮らしである「日常時」と災害が起きた時の「非常時」の2つの時間（フェーズ）に分けることをやめ、「防災のための特別なモノ」ではなく普段の生活の中で自然に使え、さらに非常時にも役立つ「モノ」が社会に求められています。

フェーズフリーの考え方を取り入れた防災対策を求めました。

☆ 持続可能な自治会活動について！

各地域では、自治会への加入率の低下や役員のなり手不足などの課題があります。地域の将来像を描き、地域の実情に応じた役員のあり方や運営方法の見直しなど、持続可能な自治会活動のため、行政の支援を求めました。

市は、地域と連携し協力していくとのことでした。

―― 平成30年度決算 ――

平成30年度一般会計の決算は、歳入（収入）総額280億8,568万円、歳出（支出）総額278億2,969万円となりました。

特別会計の決算は、全8会計を総額すると、歳入（収入）総額197億751万円、歳出（支出）総額193億6,472万円となりました。

一 国へ意見書を提出 一

- ・義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
- ・教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
- ・子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関する制度の拡充を求める意見書
- ・防災対策の充実を求める意見書

様式E（マニュアル様式）

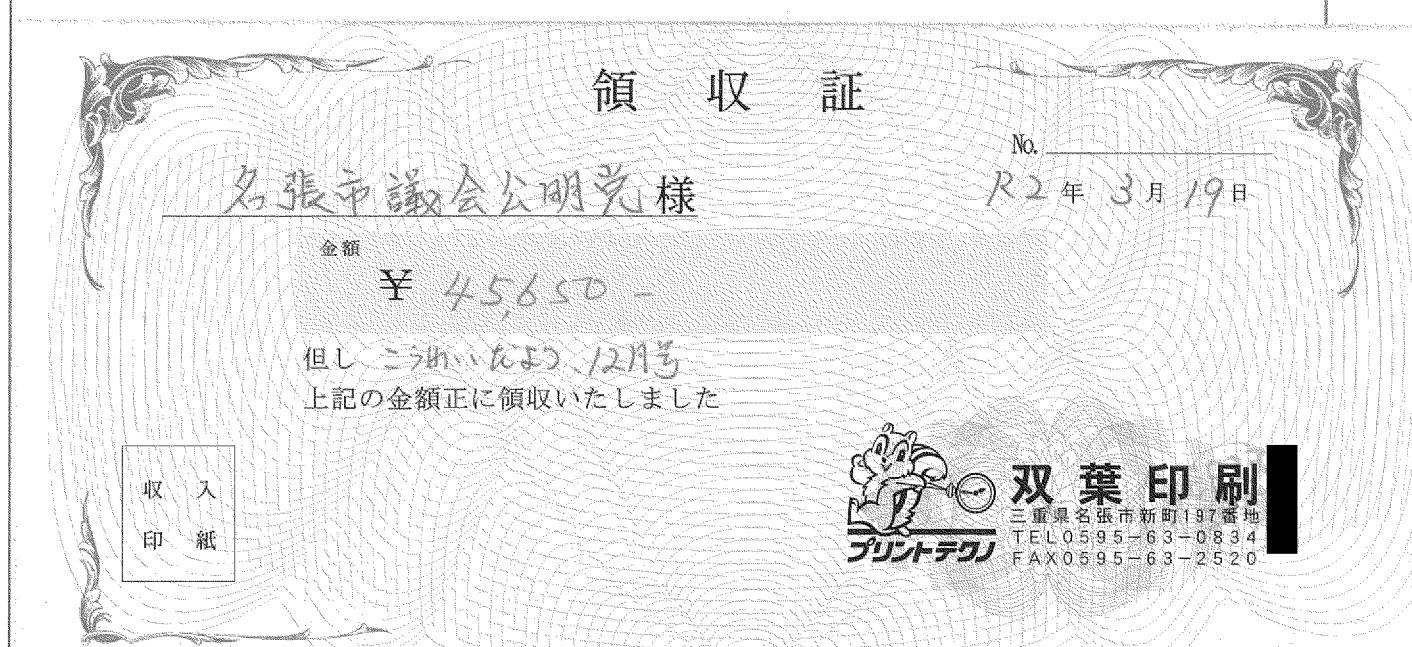
政務活動費領収書等整理表

会派名：公明党

報告年度：令和元年度

項目	調査研究費・研修費・ <input checked="" type="checkbox"/> 広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費 資料作成費・資料購入費・その他経費
目	(該当科目に丸をつけてください)

領収書等添付

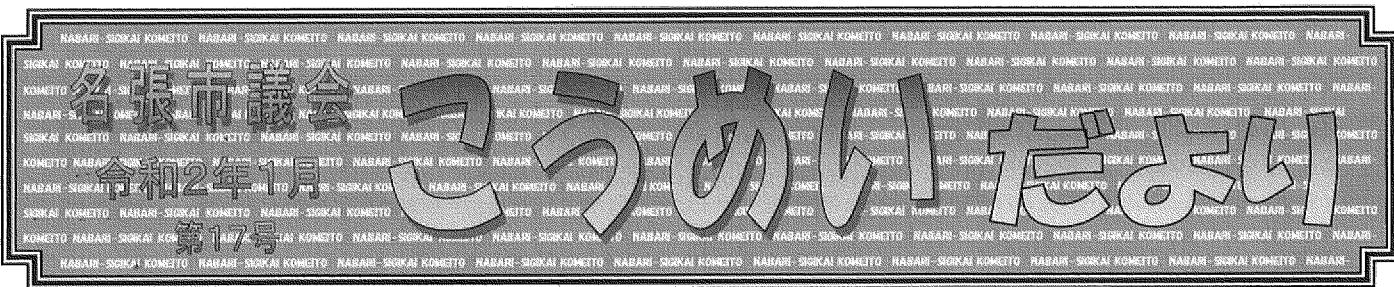


領収証金額	政務活動費で認められる按分	政務活動費分
¥45,650 ×	1/3	= ¥15,216

合計金額	15,216円
------	---------

※貼付する領収書等は、支出年月日、支出内容、金額、相手方が確認できるようにしてください。

※この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、科目を統一してください。



令和元年（第389回）12月 議会



☆令和3年度 三重県立高等学校募集定員に関する要望

三重県教育委員会は、令和2年度の三重県立名張高等学校入学募集定員数を前年度と比べ40人減らすこととしています。

今年度の進学希望状況調査では、三重県立名張高等学校への進路希望人数が39名定員オーバーとなり、多くの生徒が進路変更をせざる得ない状況になっている。名張市及び伊賀地域の中学校卒業生の現状を鑑み、募集定員のアンバランスの解消を求める要望書を各学校関係者と共に名張市議会も三重県知事、三重県議会、三重県教育委員会に提出しました。

☆資源ごみ分別の一部見直しについて！

近年、プラスチックごみによる海洋汚染や不適切な処理などで、地球規模の環境問題となっています。

我が国においてプラスチックの焼却処分が認められたことから、名張市においてもプラスチック製容器包装再商品化の経費削減や、高齢者世帯等のごみの分別の負担を軽減することなどを理由に、容器包装プラスチック及び白トレイを「燃やすごみ」とし、収集車や焼却施設の火災原因につながる小型家電を「燃やさないごみ」として資源収集する方向に見直されます。



☆WHOが名張市を視察！！

昨年12月12日～13日の2日間、WHO（世界保健機関）西太平洋地域事務局による地域共生社会の実現に向けた先進的取り組み実践例として名張市を視察されました。

☆名張かわまちづくり一体型浸水対策事業

(1期)起工式が行われました！

(令和元年12月15日)

名張川引堤及び河道掘削による浸水対策と、河川空間の整備で新たなにぎわいを創出するまちづくりとの一体事業です。

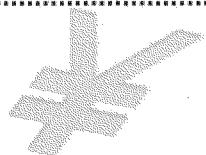


一 意見書を提出 一

- ・「あおり運転」の厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書
- ・太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

＜令和元年度 12月補正予算＞

今議会の補正予算は、3億3923万円が増額され、一般会計歳入歳出は、302億253万円となりました。



☆住居区分の飛び地について

市内には、「まちづくり組織」の飛び地が数か所存在するが、居住されてる方々とその他の方々との公平性は担保されているかを問いました。

執行部からは、居住されてる方々からの意見を聞き、居住地による不公平が生じないように留意していくとの答弁がありました。



☆特別支援学級について！

中学校区の再編により本年4月から、旧桔梗丘高校跡に桔梗が丘中学校が移設され、特別支援学級に通う生徒も増えます。

保護者・児童の不安を解消するため早期相談会を実施し、個々に応じた途切れのない継続的な支援の充実を図るよう求めました。

☆産婦健康診査について！

名張市では、お母さんの産後の心身の健康管理や産後うつ予防を図るため、産婦健康診査を無料で実施しています。

（1回目：出産後2週間前後、2回目：出産後1か月前後）

産婦健康診査の実施については平成29年3月議会で提案し実現しました！

☆防災の日常化（フェーズフリー）について！

被災時の被害軽減と生活復興のため、市と住民が共に日常的な防災意識（フェーズフリー）を高める必要があります。日常的な市と地域との連携を進め、危険個所の共有と日常品の被災時利用の知識の共有を進めることを求めました。そして、2020年から日本に導入される5Gをいち早く利用し、ブロックチェーン（分散台帳）技術を利用した被災時と福祉サービスの推進について提案しました。

☆建築土木に関する雇用問題について！

建築土木に関する人材不足が全国的な問題となっており、名張市においては全国の平均より著しく低く重大な問題となっています。公共工事の平準化や職場体験学習の推進など、市としての考えを聞きました。

公共工事の平準化を進め就職説明会を増やすとともに、校長会との話しを推進し対応するとの回答でした。加えて、名張市として重大な問題なので、関係企業との話し合いを進め対応するとの市長の返答もありました。

☆名張市立病院の収益改善について！

昨年度及び今年度の収益改善策について質問しました。

執行部からは、次年度から導入の地域包括ケア病棟41床で年間1億7千万円の增收を見込んでいるとの答弁がありました。



☆中学校給食について！



中学校給食の導入については、各方式のメリット・デメリットを示し、センター方式での導入を求めました。現在の小学校の給食室の老朽化もあり、小・中学校合同の給食センターの導入についても検討するよう要望しました。

執行部からは、センター方式の導入や、小・中学校合同の給食センターについて検討するとの答弁でした。



☆小・中学校生の読書活動について！

読解力の低下が問題になっている事から、生徒児童が楽しく読書が出来るよう過去の読書記録が一目でわかる読書通帳の導入を提案しました。

執行部からは、読書カード更新時に経費面も含め検討する旨の答弁を得ました。

☆防災・減災について！

本年の防災訓練において、川西梅が丘地域にて給水地から直接の給水訓練がおこなわれました。災害時の交通インフラ断絶時に職員が給水地に来れない事を想定し、特定の地域住民で給水を実施できないか、また長野県上田市の事例を上げ、避難所である体育館にプライバシー保護のための小テントの整備を要望しました。

執行部からは、大屋戸地内の浄水施設に職員が常駐し、一方の場合には浄水施設の職員が対応し、また避難所のテントについては、プライバシー保護として有効と思われるが、費用の面からも検討するとの答弁がありました。